

1. 授業の基本情報・概要

(1) 授業担当者

国語：小助川先生，藤堂先生
英語：立松先生 理科：向先生
音楽：井上先生 美術：秋山先生
保健体育：日野先生
社会：鴛原 進（全体運営も）

(2) 授業の到達目標

（「教科指導力高度化演習 基礎」「教科指導力高度化演習 発展」とともに）

1. 授業実践を多面的視点から分析・考察する知見や能力を習得している。（知識・理解）
2. 教科に関する研究的な実践能力を習得している。（技能）
3. 観察や研究の成果を科学的方法によって整理し、それらを効果的に表現することができる。（思考・判断・表現）

(3) 授業概要

令和2年度より教科領域コース（定員15人）ができた。現在、2年生21人（全員標準プログラム）、1年生21人（19人は標準プログラム、2人が1年修了プログラム）が所属している。「学校現場に出て即戦力またはミドルリーダーとして教科指導についての高度な実践力と、教員個々の実践的指導力を目標達成に向けて統合する組織力の向上に貢献する教員の育成」を主眼としたコースである。

1年生21人全員が「教科指導力高度化演習 基礎」（1年次前期配当，2単位）、「教科指導力高度化演習 発展」（1年次後期配当，2単位）を履修している。

自分の所有している教員免許の教科により、国語（2人）、社会（6人）、英語（3人）、理科（5人）、音楽（1人）、美術（1人）、保健体育（3人）にて教材分析や教育実践に向けての取組を、前期「教科指導力高

度化演習 基礎」では実施した。その報告会を8月3日（火）1限に7教科全て、対面にて実施した。

後期、引き続き「教科指導力高度化演習 発展」にて、国語、社会、英語、理科、音楽、美術、保健体育で、実践を通じた授業が行われた。1月25日（火）1限に、国語、社会、英語の1年間の取組についての報告会を、2月1日（火）1限に、理科、音楽、美術、保健体育の1年間の取組についての報告会を、対面と遠隔同期型（Zoom）の併用にて実施した。

成績は、各教科でご担当の先生に100点満点で、「教科指導力高度化演習 基礎」「教科指導力高度化演習 発展」ともつけていただいた。

2. 授業評価・授業研究の内容

2月1日（火）1限の最後に、「一年間を通して、最もよい（取組がよい。報告がよい。実践がよい。頑張っている。わかりやすい。など、受講生各自が定義）と考える教科を1つ（自分の所属教科でもよい）選んで」投票してもらった。

国語：4票 社会：2票 英語：3票
理科：3票 音楽：1票 美術：1票
保健体育：6票 無投票：1
という結果であった。

3. 総括

今年度も、受講生のみならず教科でご担当いただいた先生方も、新型コロナウイルス感染拡大のため、大変な苦勞をしながらこの講義を進めることとなった。この科目は、かつての「フィールド演習」（学校教育専攻と教科教育専攻）、令和元年度までの教科教育専攻「教科指導力高度化演習」（通年，4単位）の伝統を引き継ぎものであろう。